

電子の時代と大阪万博



NTT ドコモ、住信 SBI ネット銀行を「巨額買収」の記事が全国紙や地方紙の経済面を飾った。通信会社と銀行の結合、しかもネット銀行である。AI 時代にどんな新風を起こすのだろうか。足元をみると各県の有力銀行の合併が始まっている。企業を取り巻く金融の状況はまだ表に出ていないが、自社のメイン銀行が「ある日突然、吸収合併となり、消滅する。」ことも想定範囲内に入れていた方がよい。その時、どんなことが自社に起きるだろうか。各社、メイン銀行、サブの銀行と各銀行を位置付けて金融取引が継続されている。むかし、相互銀行は銀行に統一され、民間の金融機関は銀行と信用金庫・信用組合とに区分けされた。それぞれの生い立ちがある。信用金庫・信用組合も相互銀行と同様に銀行へ集約される方針が「金と銀」の違いにより、現在に至っている。「金と銀」、有名な逸話である。できればインターネットで調べて見られたら吹きだすかもしれない。信用金庫・信用組合は簡単に言うが協同組合の組織である。株式会社である銀行とは法律も異なる。金と銀との役割の違いが根本にある。あらゆるものが激変する今日、金融界も同様である。私達のスタンスはどう考えたが良いだろう。もとより、信用金庫・信用組合もその波は避けられないが「その役割」はこれまで以上に重要なものとなる。こちら総務部のスタンスはメイン銀行 40% サブ銀行 30% 信用金庫 30%の金融スタンスである。信用金庫の重みをましたいと思う。今後の地域経済のなかに信用金庫がその生い立ちからして、さらに必要とされる時代になるように思える。

さて、6月6日に一泊して、大阪万博に行ってきた。いわゆる物見遊山である。現金決済ができないエリアなので、初めてクレジットで買い物をした。使用した現金はホテルでの宿泊税 100 円を宿泊受付機に投入しただけである。すべてがペイペイやカードの取引である。地べたに 1 円すら落ちていない。万博の出納帳はすべてが電子記録となる。電帳法の時代を先取りしている。大阪万博の「未来へ」というテーマと合致していた。これが未来の時代か、みように納得して帰ってきた。

四ヶ所十郎

こちら
総務部
便り

Vol. 62

2025
水無月号

～経営指標（中小企業実態基本調査）～



今回は、中小企業庁が2025年3月に公表した経営指標について決算書のどの数字をもとに計算するのかを書き記していきます

表、経営指標の算出及び産業加重平均値

観点	経営指標名	算出式	令和3年度 全産業 加重平均値	令和4年度 全産業 加重平均値	令和5年度 全産業 加重平均値
A. 総合力	(1) 自己資本当期純利益率 (ROE)	当期純利益 ÷ 純資産 × 100	8.29(%)	10.32(%)	9.88(%)
B. 収益性	(2) 売上高経常利益率	経常利益 ÷ 売上高 × 100	4.26(%)	4.29(%)	4.37(%)
C. 効率性	(3) 総資本回転率	売上高 ÷ 総資本 (純資産)	0.98(回)	1.00(回)	1.01(回)
D. 安全性	(4) 自己資本比率	純資産 ÷ 総資産 × 100	40.13(%)	41.71(%)	44.40(%)
E. 健全性	(5) 財務レバレッジ	総負債 (総資産) ÷ 純資産	2.49(倍)	2.40(倍)	2.25(倍)
F. 生産性	(6) 付加価値比率	付加価値額 ÷ 売上高 × 100	26.93(%)	26.09(%)	26.13(%)

～中小企業庁 令和6年中小企業実態基本調査速報より一部抜粋～

A. 総合力	自己資本を使って効率よく利益を生み出しているか。数値は高いほどよい。
B. 収益性	売上高に対する経常利益の割合。数値は高いほどよい。
C. 効率性	効率的に総資本を利用してきているか。数値は高いほどよい。
D. 安全性	財務の安全性。総資本のうち純資産の占める割合。数値は高いほどよい。
E. 健全性	高いほど他人資本（負債）の割合が高いことを示す。数値は低いほどよい。
F. 生産性	売上高に占める付加価値（※）の割合。数値は高いほどよい。

貸借対照表

(資産の部)	(負債の部)
【流動資産】	【流動負債】
【固定資産】	【固定負債】
【繰延資産】	負債合計 (他人資本)
	(純資産の部)
	【株主資本】
	純資産合計 (自己資本)
資産合計 (総資産)	負債・純資産合計

※経営指標の項目に該当するものは朱書き

損益計算書

【売上高】
【売上原価】
売上総利益
【販管費及び一般管理費】
営業利益
【営業外収益】
【営業外費用】
経常利益
【特別利益】
【特別損失】
税引前当期純利益
法人税等
当期純利益

※中小企業庁が定義する付加価値額

(売上原価のうち労務費、動産・不動産賃借料、減価償却費)

+(販売費及び一般管理費のうち人件費、動産・不動産賃借料、減価償却費、租税公課)

+(営業外費用のうち支払利息・割引料)+経常利益+従業員教育費

↑損益計算書、製造原価報告書、販管費明細書より各項目をピックアップします。

ダイレクト納付のすすめ

recommend

現在、税務署から法人税の納付書は送付されなくなりました。いずれは、消費税や地方税の納付書も送付されなくなる可能性があります。

もちろん、納付書による納付が、すぐにできなくなるということではありませんが、今後はできる限り、ネットバンキングや「ダイレクト納付」を利用してください、という税務署の意思表示だと思っています。納付書での納付自体が逆に手間になってくるとい流れになりそうです。

経理業務を効率化したい皆様に、「ダイレクト納付」をご紹介します。国税や地方税を簡単に納付できるこの方法なら、時間と手間を大幅に削減。事業主や経理担当者の皆様に、その魅力をご紹介します。

#ダイレクト納付とは？

*ダイレクト納付とは、e-Taxを利用して国税（法人税、消費税、源泉所得税など）を口座振替で納付するサービス。税務署に「ダイレクト納付届出書」を提出し、登録口座から納付します。また、eLTAXは、e-Taxの地方税（住民税、事業税など）版です。両者を組み合わせれば、納付書を持って銀行に行く手間がなくなります。

#4つのメリット

1. 時間と手間の節約

納付書を用意し、銀行やATMに足を運ぶ必要なし。e-TaxやeLTAXで申告後、数クリックで納付完了。オフィスや自宅から手続きでき、経理業務の時間を大幅に節約できます。

2. ミス防止で安心

e-TaxやeLTAXで納付情報が自動連携され、金額や納税先の入力ミスを軽減。納付日を事前に設定でき、期限忘れのリスクも減ります。ミスによるペナルティを防ぎ、安心して納税できます。

3. ペーパーレスで環境配慮

納付書や領収書の印刷が不要。紙の使用を減らし、環境に優しいだけでなく、書類整理の手間も省けます。環境配慮は企業イメージの向上にもつながります。

4. 一元管理で効率アップ

e-TaxとeLTAXを組み合わせれば、国税と地方税の申告・納付を一元管理。資金繰りに合わせて納付日を設定でき、経理の効率化と事業の安定性を高めます。

#始め方は簡単！

1. e-TaxとeLTAXの登録：電子証明書や利用者識別番号を取得（こちらで取得済みです）
2. ダイレクト納付届出書提出
3. ネットバンキング設定（ネットバンキングは必須ではありません）
4. 納付実行：e-Tax/eLTAXで申告後、納付額と日付を設定し、口座から引き落とし。

当事務所では、e-Tax/eLTAXの登録、ダイレクト納付の設定から運用までサポートしますので、安心です。

ダイレクト納付で、国税・地方税の納付をスマートに。時間・リスクを減らし、環境にも優しい納税を始めましょう！

研修旅行レポート



数年ぶりに社員研修旅行へ、今話題の大阪万博に行ってきました。普段人が多いとこに寄り付く私ではないですが、とにかく人が多かった。万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」ということで、ただ一つ興味があった25年後の自分と対面ができるパビリオン予約に落選し、同じく話題の大量発生虫「ユスリカ」と、いのち輝く未来の共存を体験してきました。

と、レポートはここまでとして、今回の場合は研修旅行という名目の社員旅行でしたが、税務調査では、指摘を受けやすい研修旅行や視察旅行。通常のレクレーション目的の社員旅行とは異なり、業務上必要な知識や技能などの獲得を目的とした旅行のことを指します。中小企業では、多いと思いますが、社員がいない家族経営の場合の視察、研修旅行は家族旅行との判断がつきません。また役員だけで行く視察、研修旅行など指摘を受ける要素が多々あります。

研修、視察目的であれば問題ありませんが、それを証明するためにもしっかりと証拠を残しておきましょう。日程表、写真、議事録、パンフレット、報告書など明確に記載しておくことをお勧めいたします。とは言え100%を研修や視察したとは限らないと思われます。観光に要した部分は給与扱いとなり課税される場合もありますので、業務と観光の割合を明確にして私的部分は個人負担で賄いましょう。

辻 直英



2025年6月6日、大阪・関西万博へ行ってきました。大阪万博と聞くと、個性的なデザインの海外パビリオンや、シンボルとなる大屋根リング、未来のデジタル世界を紹介するイベントなどを思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。

しかし、万博にはもう一つ、楽しめる体験があります。

それは、スタンプ集めです。

旅行好きの私は、「海外旅行の気分が味わえる」スタンプラリーに挑戦したいと思い、万博で体験してきました。今回はその楽しさを皆さんにご紹介したいと思います。

万博会場内には、日本館や企業館、海外館など、なんと200個のスタンプが設置されています。パビリオンの外観や各国の特産品など、多彩なデザインが施されていて、見ているだけでもワクワクします。

スタンプは、専用の台紙に押す形式だけでなく、スマートフォンでQRコードを読み取り、画像データとして保存できるデジタルスタンプも併設されています。

私は海外旅行気分を味わいたかったので、万博の公式ショッピングストアでスタンプパスポートを購入し、いざ各国を巡ってスタンプを押しました。

日帰りでの訪問だったので、限られた時間の中で効率よく回るため、まずは予約なしで入れ、待ち時間も少ないコモンズ館（共同館）の5カ所を巡ることにしました。コモンズ館は、複数の国が大きな建物に集まり、それぞれのブースで自国の文化を紹介しているのが特徴です。コモンズはAからFまであり、建物によって国の数は異なります。

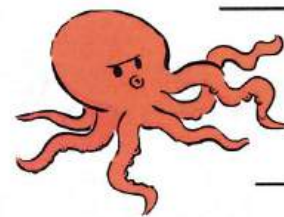
コモンズで出会った国々は、正直ほとんど聞いたことのない国ばかりで、もしかしたら一生訪れる機会がないかもしれません。もちろん、短時間でその国について全てを知ることできませんが、どんな国なのかを垣間見ることができ、とても良い機会となりました。

コモンズ館の移動中には、万博のシグネチャーパビリオンや、他の海外パビリオンの個性的な建築も楽しむことができました。こうした場所でも、ちょこちょこスタンプを集めました。もしまた行く機会があれば、今度は個別の国のパビリオン内部も見たいので、並んで入場してみたいです。

そして、帰る前の17時頃には、事前に当選していたタイパビリオンへ行きました。タイの医療や文化、そして料理について紹介してもらい、タイの挨拶の言葉（女性：サワディーカ、男性：サワディカップ）や「大丈夫」という意味の言葉（マイベンライ）も教えてもらいました。もちろん、スタンプも忘れずに押しました！

残念ながら200個全てを一日で集めることはできませんでしたが、手軽に持ち帰ることができる思い出として、私のパスポートに押されたスタンプの一部を以下の写真でお見せしたいと思います。皆様も万博に行かれる機会がございましたら、自分なりの楽しみ方でお過ごしくださいませ。

フウ



大阪・関西万博へ

2025年6月6日、ついに開幕した大阪・関西万博へ行ってきました。事前抽選はすべて落選という不運に見舞われ、正直なところ不安と期待が入り混じり中での参加でした。昼頃に会場に到着すると、まず目の前に広がったのは想像を絶するほどの長蛇の列。入場までに約1時間かかり、覚悟はしていましたが、すでにこの時点で足と腰にじわじわと疲労が蓄積されていくのを感じました。

ようやくゲートをくぐり、広大な会場に足を踏み入れた時の高揚感も束の間、スマホで当日予約の画面を見てみると、ほぼすべてのパビリオンがすでに予約で埋まっている状況。もはやアトラクションというより修行の様相を呈していました。「せっかく来たからには、何か一つでも！」という一心で、比較的待ち時間の少なそうだったチェコパビリオンに望みを託しました。幸い5分ほどで入場でき、パビリオンの中では螺旋状の坂を上りながら、壁一面に描かれた現代アートを鑑賞する形でした。チェコの魅力を感じられたような、そうでもないような…それでも、入ることができただけでもよしとしました。その後は、実物大のガンダムを見て、土産物店に入り、歩き回っているうちに足と腰が限界に達したので、残念ながら退散しました。

結局、入れたパビリオンはチェコパビリオンのみ。それでも、あの熱気と喧騒、未来への期待が入り混じる独特の雰囲気は、実際に体験しなければわからないものでした。事前抽選の落選、入場までの長い待ち時間、そしてパビリオン入場の困難さなど、課題も多く感じましたが、それもまた万博という一大イベントの醍醐味なのかもしれません。

富松



こころに寄り添う：いのち花開く未来へ

皆様に事前に休業日をお知らせしていましたが、社員研修で万博に行ってきました。一番行きたかった人間洗濯機で有名な大阪ヘルスケアパビリオンは事前予約の抽選で落選し、当日は入れるとこに入ればいいのか！？というお気楽な考えで行きましたが、実際、行ってみると入場口に入るのに時間予約してるにもかかわらず長蛇の列！12時の予約だったのに、実際入場できたのは12時45分。

13時に食事の予約をしたので、すぐさまレストランへ直行してみんなと合流。

食事のあと、どこのパビリオンに入ろうかと思いながら歩いたのですが、どこも短くて30分待ち、1時間待ちでした。

万博に来たからには大屋根リングのスカイウォークを歩かないと・・・と思い、エレベーターで上まで昇りました。一周約2Km、風が吹いていて、とても気持ちよく、上からの眺めは最高で、ルンルンで歩き始めたのですが、日頃の運動不足が祟り一周回ったらヘロヘロでした。下に降りて、ちょうど韓国パビリオンの前で休憩したら、壁面の液晶パネルに映像が流れて、その迫力と美しさにくぎ付けになり、体力も復活！最先端のAI技術の韓国パビリオンに入りたかったのですが、約1時間待ちで断念しました。待ち時間が少ないパビリオンもたくさんありましたので、これから万博に行こうと思われる方は、各パビリオンの下調べをして、予約も抽選で当たるかどうかはわかりませんが、希望枠いっぱい予約をして行かれることをお勧めします。

今回、万博に行ってきたのは、トイレもとてもきれいで、会場の各所にごみ箱が設置されていて、会場内にごみ一つ落ちてない。さすが日本！

たまたまごみ回収をされてる人たちと遭遇しましたが、その人たちのおかげできれいな会場が保たれていると思いました。

ただ、「未来」をうたっているのに、せっかくならごみの回収や掃除などもロボット君がしたらいいなあと思いました。



万博のキャラクター
ミャクミャク



大屋根リングからの風景



各所に設置されているゴミ箱

*** ~北原~ ***

こちら総務部便りデジタル版を配信ご希望の方は
コチラの登録フォームからどうぞ！>>>>>>

